

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 3年 4月 1日

事業所名 特定非営利活動法人 笑心ちゃん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		活動がしやすいように訓練室を2部屋設け、規定以上	現在コロナ禍での活動なので密にならないように工夫していく
	2	職員の配置数は適切であるか	4		個別支援に対応している	利用者対応に充分である程配置し状況に応じた対応をしていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4		外に段差があるが、介助が必要な利用者には介助を行い転倒防止等を行なう	施設の中はバリアフリーで、外は訓練も兼ねて、少しの段差を設けている。完全なバリアフリーではないが、家庭に近い環境でユニバーサルデザインに配慮している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		全員が集まれる時は行う。個人レベルでもフィードバックを行えるよう努力している	送迎などで全員が集まれる事が難しいが、支援については、情報共有ノートを用いて支援のムラがないよう努めていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		改善できるところは迅速に、時間が掛かるものについては保護者と話し合い工夫していく	アンケート結果を踏まえて業務改善に努めている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		会報はないがホームページで公開している	今後もホームページで公開していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	第三者は利用していない	現在、第三者委員会を検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		不定期での研修は行っている。個人レベルでの情報収集も行っている	外部研修に参加したり、事業所内研修を行なっている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		保護者からのニーズはサービス計画に反映させている	今後も継続していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		全てを網羅したアセスメントツールはないが基本的にはアセスメントツールを利用していく	ある程度の大まかな基準ではない、チェックすべき項目を自分できちんと把握すべきであると感じた。固定観念だけに捕らわれず、保護者からの支援による対応が主である
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		個別支援については職員間で連携している	中々意見が出ない事もあるが、最近では少しずつ形になってきている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		新しい曲や歌でリズム遊びをする等工夫している	季節を感じてもらい催し物や療育支援の為に必要なプログラムを出来るだけ固定しないような対応に努めていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		職員間で課題を決め、初日に利用者で話し合い設定して決めている	平日は個人の課題も多くある為、個々の設定には時間的な制約もあり細部までは難しいが特に長期休暇の場合は課題に応じた日課を実施している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		個別活動についてはそれぞれの課題や療育を目的に支援するよう努めている	年齢や特性の違いにより難しい部分もあるが、利用者一人ひとりの状況を把握し、成長の一步を目指したい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		支援の方向性や目的などの共通認識はあるが、すべてに個別分担は行っていない	職員各自、声を掛け合い確認し合っている。毎日の支援のために情報共有ノートを用いて、支援前に確認するようになっていく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		送迎や職員の時間的な制約等もある。出来ない場合は情報共有出来るよう努めている	毎日ではないが、提案や課題があった日は話し合い、情報共有し、送迎に出ている職員もいるため、気付いた点等は情報共有ノートに記載し、全職員が把握するよう努めていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		全員が検証・検討に繋げていくにはまだ不十分である	記録の付け方や内容については内研修をしたり、時には記録した職員に確認している。職員が情報共有していけるようなツールを使いながら徹底して行くよう努めていく

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	定期的にサービス計画の見直しを行い、保護者に確認してもらっている	目標などがブレないように気をつけたい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	ガイドラインは共有し理解しているが、複数実施出来てはいない	ガイドライン全てを結び付けて支援することは難しい部分もある
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	主に責任者が対応している	担当者会議等には現場に精通した者が参加することが大切である
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	学区との調整は原則保護者が対応。その他トラブル時等は施設側と保護者間で連絡し対応する	学校に迎えに行った際に、教員とその日の子どもの様子の情報交換を行なっている。必要時は面談実施
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	現在は医療的ケア者はいないが体制の準備は出来ている	要望に合わせて対応する体制はあるが、今は保護者を介して必要事項を知る。主治医等との直接の連絡はないが、保護者からの情報提供あり。必要時は面談等を行なっていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	状況に合わせて対応をしていく	保護者からの情報提供あり。必要時は他機関と面談等を行なっていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	責任者が対応し保護者とも相談。必要に応じた情報提供を行う	問い合わせや保護者からの希望があれば対応したい。保護者からの情報提供あり。必要時は面談等を行なう
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	主に責任者が対応している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	コロナ禍で現在は行っていない。機会があれば検討して行きたい。	施設長の保育園(就業)時代の子どもたちが折り紙を持って来てくれたり、一緒に折り紙を折ったりすることもある。公共施設や事業所の訪問など、積極的に行なっていると思う
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	主に責任者が対応している	渋川広域に協議会がある
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	全ての保護者と直接は話せないが、必要に応じて連絡ツールにて対応している	利用者の送迎時に、リハビリや成長、変化等の話をし、共通理解に努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	保護者からの相談内容により対応の仕方などの手助けとなれるようにして行く相談などを共有し、情報提供などを行う	型式ばらずに日々の伝達などの時に取り入れながら行なっている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	主に責任者が対応している	重要事項説明書をもとに行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	主に責任者が対応している	研修や自己学習等に取り組み、保護者の悩みを理解して、少しでも解決に近づこう努めていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	主に責任者が対応している	今現在保護者会はないが、保護者の意見を聞き、必要時は実施しても良いと思う
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	苦情があった場合は適切な対応が出来るように体制は整っている	苦情や相談について、職員で共有して改善を導き出す
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	会報はないが活動概要はホームページで公開、日々の様子はLINE等で発信している	今後も施設内貼紙やホームページにて発信

	35	個人情報に十分注意しているか	4	個人情報の取り扱いには十分配慮している	今後も個人情報の取り扱いには注意していく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	口頭以外では送迎時やTEL等で対応している	モニタリングや相談時間を個々に設けている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	事業所内で地域コミュニティの場として提供している	運動会や生活発表会にお誘いをしている実績があるが、現在はコロナ禍で出来ていない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	マニュアルを作成し保護者に配布し周知している	マニュアルは配布しているがコロナ対策を含め、補足事項などもあり随時変更し配布していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	定期的に実施している	利用者の様子をみながら年に2回は実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	定期的に虐待防止研修は行っていないが、日々の業務により検討を行っている	県主催の研修会に2名(管理者、指導員)参加
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	身体拘束は行っていないが、やむを得ない場合は必要な手続きを行う	今現在、身体拘束が必要な子どもの利用はない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	事業所からの食べ物の提供はない。	保護者にお弁当、おやつの用意をして頂き、指示書等の共通理解をしている。対象児童は、現在は在籍していない。アレルギーは保護者からの情報提供で行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	ヒヤリハットのファイルは作成され職員間で共有している	各自、ヒヤッとしたときにはヒヤリハット報告書を記入し事業所内で共有し、事後の改善に繋げている